



かしこく 心豊かで たくましい子の育成をめざして

令和7年度

東明小だより

令和7年9月24日
第7号



子どもたちが主役の運動会を目指して



校長 中嶋 聡子

9月12日運動会の結団式を行いました。東明小学校では、今運動会に向けて、演技の練習をしたり、応援練習をしたりと校舎のいろいろなところから、子どもたちの元気な声が聞こえてきます。

結団式では、赤団・白団の応援団が体育館の入り口で準備をし、団員に指示を出して整列しました。整列が終わると団長の掛け声とともに式が進んでいきました。応援団がリーダーとなり進めていく、子どもたちが主役の結団式でした。

それぞれの応援団長に今年の運動会の意気込みを聞いてみました。

赤団団長：団全員で団結して、仲間ががんばっている時は、みんなで応援できるような団にしたいです。最後に、応援団がこの人たちでよかったと思ってもらえるよう全力で応援したいです。

白団団長：学年関係なく応援をして、みんなの思い出に残るような団にしたいです。そのために手拍子を合わせ、みんなで大きな声で応援したいです。

そのほかにも、子どもたちが主役となって運動会への準備が進んでいます。

5・6年生は、学年競技「東明ハリケーン」の4人グループを自分たちで考えました。コーンを速く回するためには、誰が回転の中心となり走るとよいのか、並び順も考えました。ソーラン節の練習では、リーダーを決めて昼休みも自主練習が行われています。ちょうど、校長室の上の教室で踊っているの、昼休みの度に力強い掛け声と足踏みの音が聞こえてきます。

3・4年生は、郡上踊りの練習をしています。4年生の列の間に3年生が入って、一緒に踊っています。4年生は、踊りを覚えるための掛け声を考えたり、3年生が踊れているかを優しく確かめたりしながら踊っています。視線が3年生の方を向いていて、見ていると、とても暖かい気持ちになります。3年生も整列など自分たちの力でいき、素早く並んで静かに移動しています。

1・2年生は、お互いのダンスを見合って、よいところを見つけ合ったり、友達のよさを自分に取り入れようとしていたりしています。どの子も笑顔で一生懸命練習しています。

10月18日の運動会が、今から楽しみです。運動会スローガン『一等星 ～一人一人のがんばりが輝く東明小～』を目指して、一人一人が主役でがんばる運動会をご覧ください。

